

事業所名

みらいキッズ月島

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念	子どもたちが、自分自身の未来を切り開く力を獲得し、将来の社会生活において活躍し、充実した日々を送るための、自立支援・土台作りとして支援を行います。		
支援方針	小学校入学までに集団に慣れてもらうことを支援の軸としております。机に向かって椅子に座る、ルールを守る等、小集団の中での活動がスムーズにできることを目標としています。		
営業時間	月曜日から土曜日 午前（10時～12時）、午後（14時30分～16時30分）	送迎実施の有無	あり なし *午後の時間帯はお迎え対応しておりません *土曜日は送迎を行っておりません
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	教室入室時から始まる、靴を脱ぐ、手を洗う、連絡帳を出す、検温等の身辺自立に向けた支援を行います。 トイレなどの身辺自立に向けた支援を行います。	
	運動・感覚	姿勢を保持するため、お子様に合った机や椅子を使用し着席時の姿勢に気をつけております。 体操と運動の時間を設けています。体操では音楽に合わせて、運動では挑戦してもらうことを第一目的としております。 体幹を鍛える以上に、足の裏や身体を使うことで感覚を養うことも目的の一つです。主な内容として、平均台、トランポリン、バランスブロック、バランスボード等	
	認知・行動	視覚として意識してもらうため、その日のスケジュールを明確に掲示したうえで説明を行っております。また、タイマーを使うことで聴覚部分も意識してもらっております。 学びの時間では、必ず机に向かって椅子に座って取る組む支援をしております。	
	言語 コミュニケーション	聴覚を最大限に活かしてもらうため、言語での関わりを重視しております。言語が遅れているお子様に対しても、ジェスチャーやボディランゲージで意思の疎通を図るようしております。 個別での声掛けも行いますが、各場面で集団指示を聞く練習も行っております。	
	人間関係 社会性	自由時間（自分の活動）では、職員との関わり以上にお子様同士の関わりを重要視しております。お子様同士の遊びの中から「人との関わりは楽しいこと」を身につけてもらえるよう、職員は接着剤の役割を担っております。 外出時は、教室で繰り返し伝えている「はしらない」「おさない」「じゅんばんをまもる」を体現できるよう社会のルールとリンクさせております。	
家族支援	ご家庭や園での困りごとに対する相談やサポートを行っております。	移行支援	送迎時にその日の様子を引き継ぐことで、ご家庭や園との連携を図っております。
地域支援・地域連携	隣接の放課後等デイサービスや近隣の児童発達支援事業所、相談支援事業所、他事業所との連携（情報共有）を図っております。	職員の質の向上	定期的な社内研修を実施することで意識の向上と同時に、社会人としてのマナーを重視する勉強会を行っております。 児童発達支援管理責任者や強度行動障害の研修への参加
主な行事等	季節ごとの行事 ・夏祭り（8月）、ハロウィンパーティー（10月）、クリスマス（12月）、豆まき（2月） その他、年2回の避難訓練や毎月のカレンダー作成等		